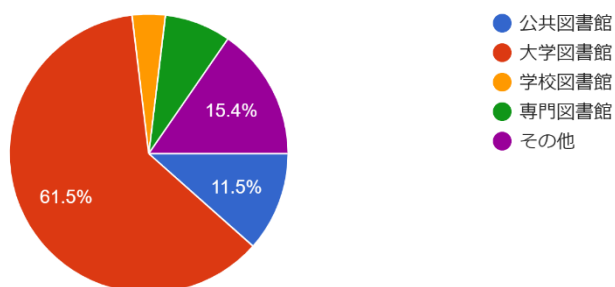


資料保存の現場見える化アンケート 結果公開第一弾 (2022 年 11 月 3 日 19:00)

1. 勤務している図書館を教えてください。

26 件の回答



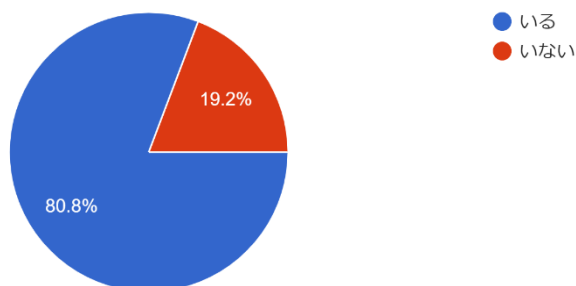
2. あなたの身分を教えてください。

25 件の回答



3. 館内で資料の修理を行っている人がいますか？

26 件の回答



4. 以下、「いる」と答えた方に伺います。修理を担当しているのは誰ですか？

20 件の回答

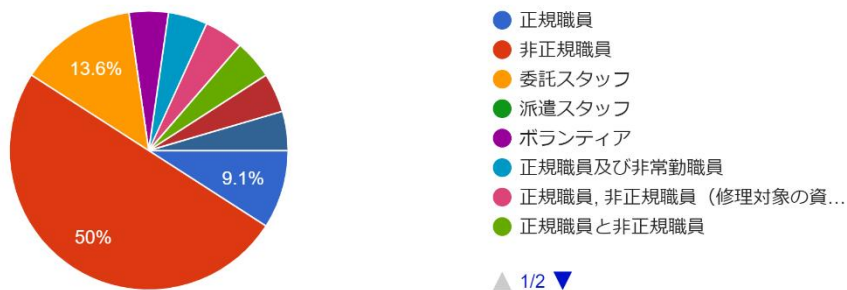


▲ 1/2 ▼

その他の回答 ・ 全員 ・ 正規職員(特に決まっていない)、非常勤職員、ボランティア

5. 修理を担当している人の身分を教えてください。

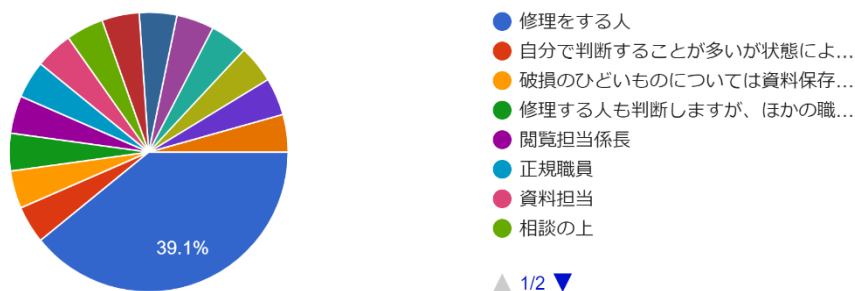
22 件の回答



その他の回答 ・ 正規、非正規職員 ・ 正規職員(特に決まっていない)、非常勤職員、ボランティア

6. 修理対象や修理内容、する/しないは修理する人が判断しますか？ 他の誰かですか？

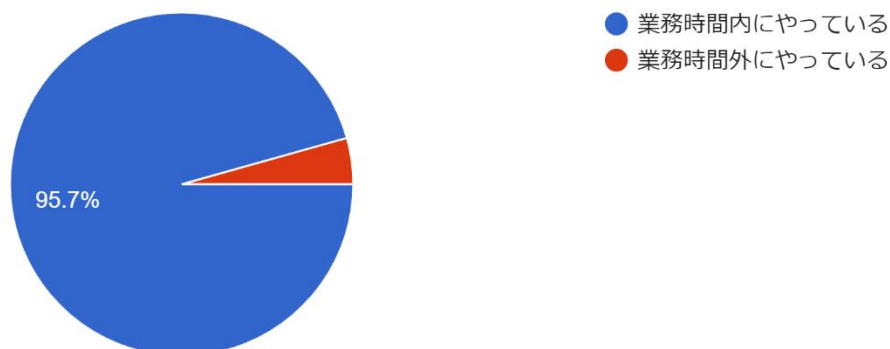
23 件の回答



その他の回答 ・ 閲覧係内で決める場合と、資料係と相談の場合もある ・ 必要に応じて正規職員が判断 ・ 迷ったら複数職員で総合的に判断
・ 分類を担当する図書館スタッフ ・ 閲覧担当 ・ 職員 ・ 修理を指示する人である場合がある

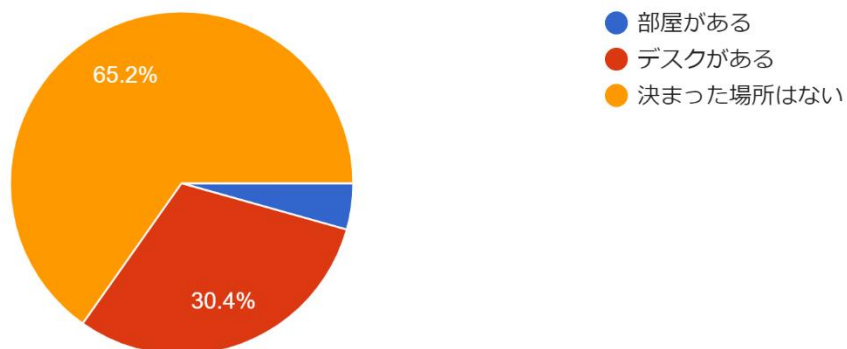
7. 修理は業務の一環として業務時間内にやっていますか？ それとも時間外にやっていますか？

23 件の回答



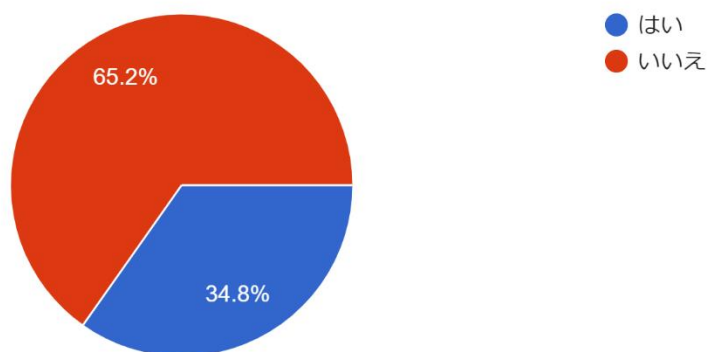
8. 修理の作業場所はありますか？

23 件の回答



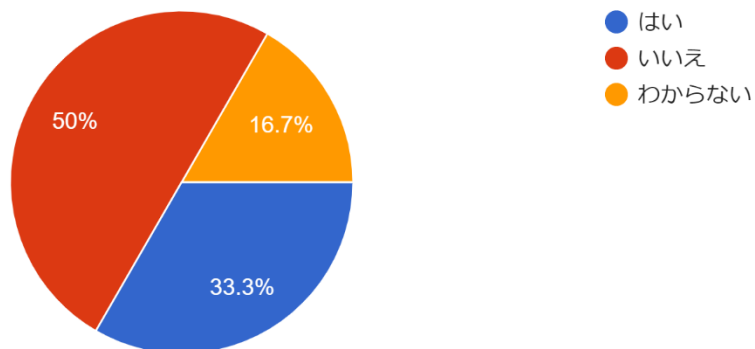
9. 修理のマニュアルはありますか？

23 件の回答



10. 業務委託等行っている図書館の方に伺います...間の仕様書に修理についての記載はありますか？

12 件の回答



11. マニュアル及び仕様書について、「はい」と答えた方に伺います。

簡単に結構ですので内容を教えてください。

修理の対象や方法まで記載されていますか？

8 件の回答

当館作成のものは、引継書程度のものです。補修マニュアルとしては、外部の公開されているものや、外部の研修・ワークショップなどで貰ったものを置いています。これは、とても細かく記載されています。

「簡単な補修を行う」

「簡易な修理を行う」とのみ記載

製本時の簡易補修について仕様書に記載されている(はず。情報が古くて明確ではない)。

記載していない。

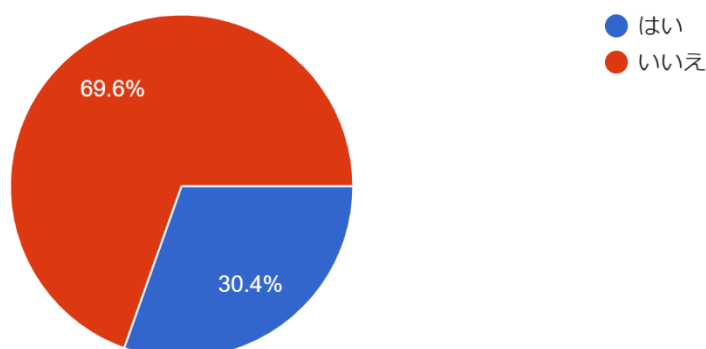
市販の書籍やを利用

修理の対象と手順を簡単に記載。ケースバイケースなので、詳しい方法はその都度ウェブサイトや資料を参照し、それをファイル化している。

本を参考にしています。「防ぐ技術・治す技術」、「図書館員のための図書補修マニュアル」等

12. 修理内容は担当の人が代わっても引き継ぐことができる体制が整っていますか？

23 件の回答



13. 「はい」と答えた方に伺います。

どのように引継ぎができますか？

簡単に結構ですので教えてください。

7 件の回答

業務引継ぎの一環として、口頭で簡単に。司書資格は必須なので、知識がないわけではない。もし経験がない場合でも、誰でも実際に教えられる程度の補修しか実施していないので。

資料保存課作成マニュアル及び館内職員向けの簡易補修研修が、閲覧部局への新規配属職員向けに行われる。

閲覧担当係の正規職員より引き継ぎ

会計年度職員間で口伝え

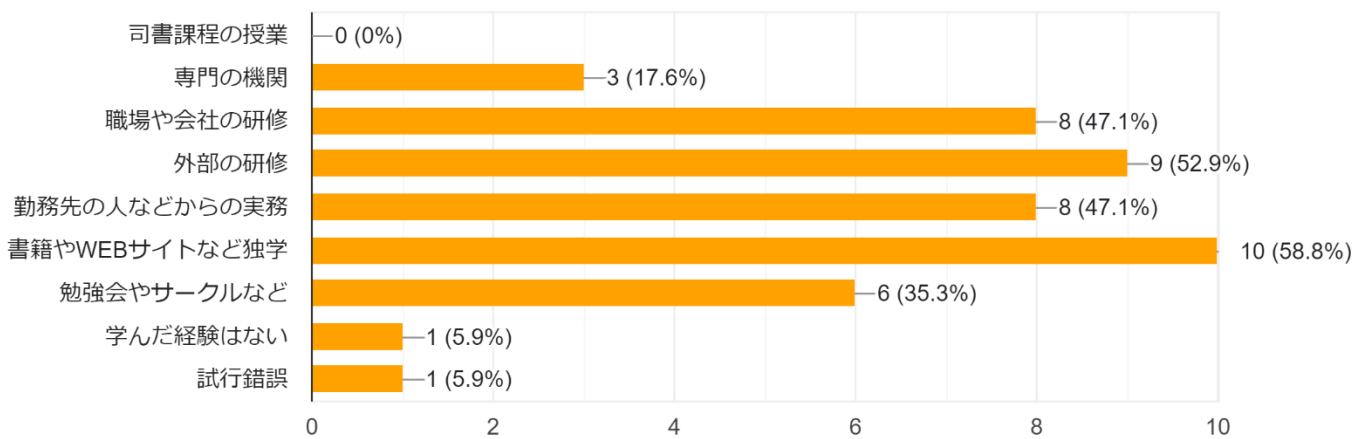
マニュアルがある

OJT

上記マニュアルを参照のうえ引継ぎ。

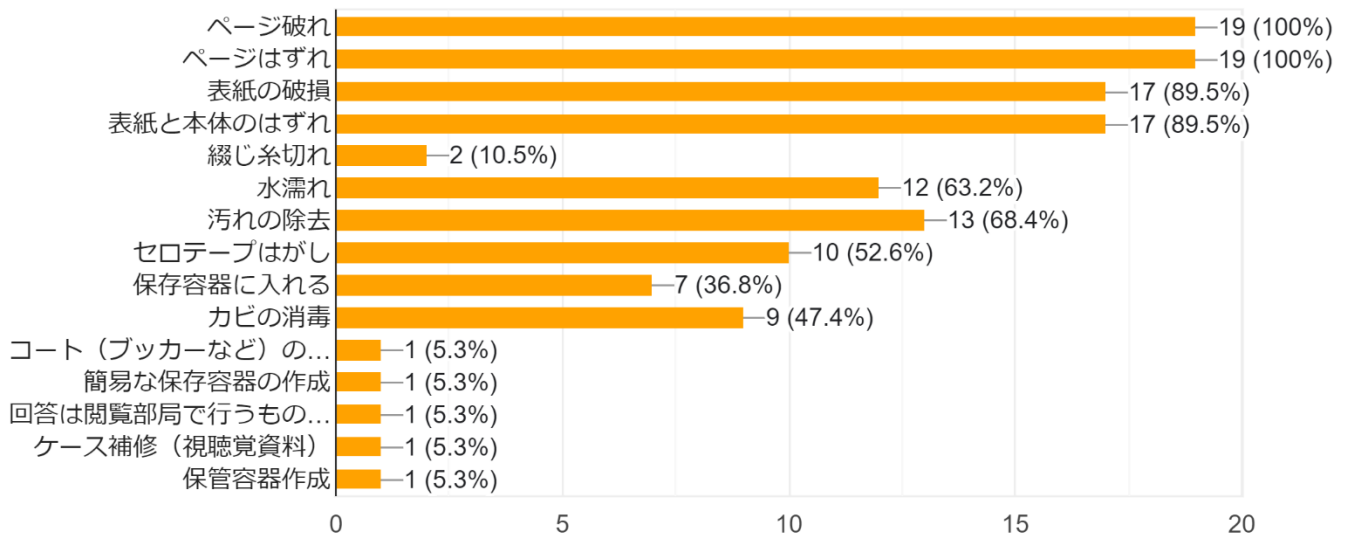
14. 修理を担当されている方に伺います。修理はどこで学びましたか？(複数回答可)

17 件の回答



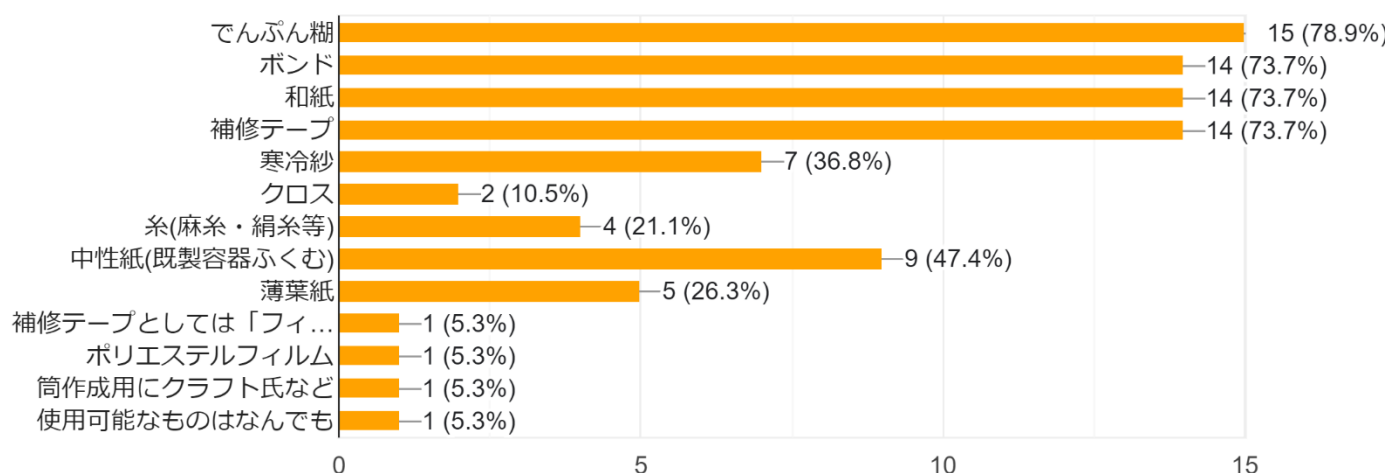
15. 修理内容を教えてください。(複数回答可)

19 件の回答



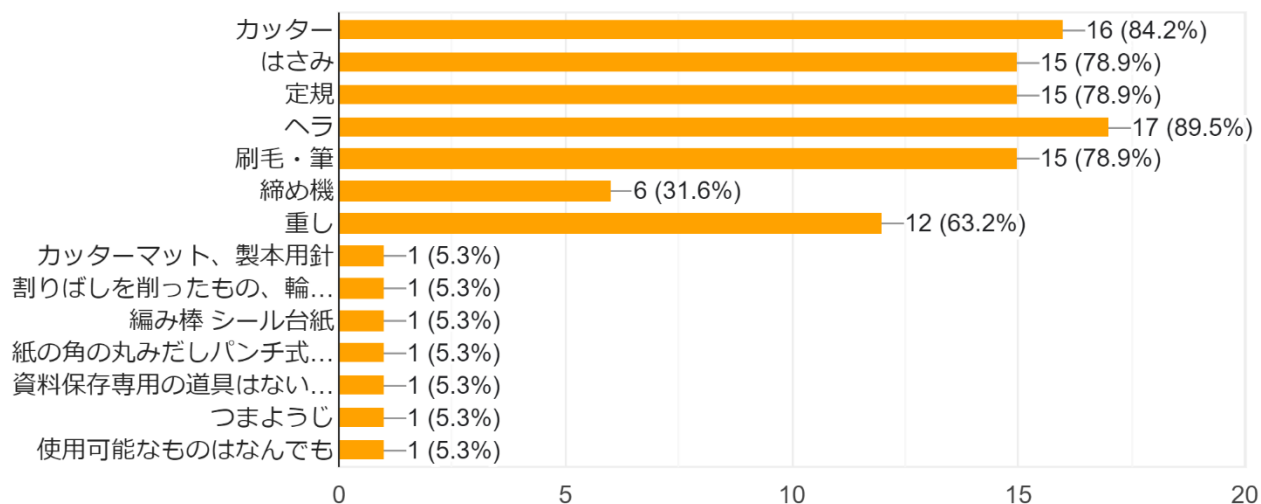
16. 修理に使う材料について教えてください。何を使って修理していますか？(複数回答可)

19 件の回答



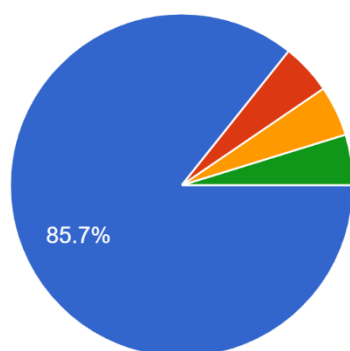
17. 修理に使う道具について教えてください。何を使って修理していますか？(複数回答可)

19 件の回答



18. 修理に使う材料や道具を購入する費用は図書館予算から出ていますか？

21 件の回答



- 図書館予算
- 資料保存課から分けてもらっている。なので広くは図書館予算か。
- 既にあった物を基本使い、ヘラだけ課長が100均で買ってきてくれました。
- 有志の勉強会内でのプール金

19. 修理の際に参考になっている書籍やサイトがあれば教えてください。10 件の回答

東京都立中央図書館の資料保存のページ、『防ぐ技術・治す技術・紙資料保存マニュアル』、小原由美子著『図書館員のための図書補修マニュアル』、眞野節雄編著『水濡れから図書館資料を救おう！』

【サイト】日本図書館協会資料保存委員会、東京都立図書館、国立国会図書館 【書籍】「防ぐ技術・治す技術-紙資料保存マニュアル-」、「水濡れから図書館資料を救おう！」、「シリーズ本を残す」、「やってみよう資料保存」、「眞野先生。本が傷んだら修理するだけじゃダメってホント？～ストーリーでわかる図書館の資料保全の考え方～」

国立国会図書館 HP、都立中央図書館 HP

国会図書館 図書の修理とらの巻、図書館員のための図書補修マニュアル

都立サイト、NDL サイトなど。

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/minorrepair.html>

『図書の修理 とらの巻』([正]・続)

小原由美子『図書館員のための図書補修マニュアル』と何処かの大学図書館サイトを参考にしました。

『防ぐ技術・治す技術：紙資料保存マニュアル』、東京都立図書館のサイト

11 同様、「防ぐ技術・治す技術」、「図書館員のための図書補修マニュアル」等

20. 館内修理について困っていることがあれば教えてください。10 件の回答

困ってはいませんが、当館では人員が少ないため、修理作業もカウンターで行うことが多いです。ビニダイン（接着剤）は匂いがあるので、利用者に迷惑がかからないように気を付けています。刃物類の扱いにも気を付けています。

マニュアルがない、委託スタッフとしてどこまで手を出してよいのか迷う

担当者以外の技術の習得・そのための引き継ぎ方法が確立できていない＝マニュアルが整備できていない。委託スタッフと正規職員で修理方法を協議するが、修理実施できるまで時間がかかる場合がある。修理用品購入や外注の予算不足。

開架資料が無線綴じばかりなので、人気のある資料は何回も背割れやページ脱落を起こしてしまうが、綴じ直しまでは現場でやる余力も時間もない。しかし、次の新しい資料が出版されて閉架資料になり、情報としては短命なので、どこまで修理するかの判断が悩ましい。

酸化しきって弱くなっている紙への対応

現在は、派遣に移行しておりノウハウは無いと思います。私が在籍の時はまだ知識がある方もおり、研修参加も許可されてましたので積極的に勉強しましたが、派遣になってからは契約外のことはおざなりのようです。

どのように修理すれば一番良いかわからないとき(コーヒー等のしみの対処等)

・担当スタッフの手先の器用、不器用で出来上がりにばらつきがある。・修理しても本の良い状態を長く保てるような修理に至らない。

修理にかかる時間の確保

修理が業務の中で体系化されておらず、フローやマニュアルも引継ぎもできていない館が多いようであること。またむやみに修理せずに保存箱、封筒等に入れることが多くなっている傾向にあること。自発的ボランティア的に修理をする人が孤独と不安を感じながら進めているケースも見受けられること。

21. 館内修理について欲しい情報があれば教えてください。8 件の回答

各館のマニュアル

用具・材料や取り扱い業者

都立のサイト、NDL のサイト等で情報はだいぶ整備されていると思う。

修理の動画

材料調達手段や、それらの保管方法を知りたいです。

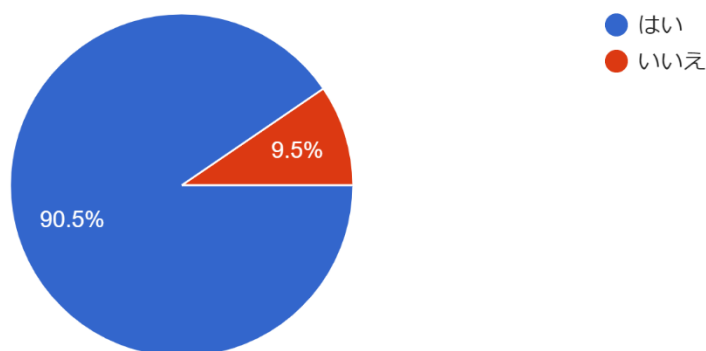
細かい修理内容で短い動画があってほしい

・修理用の道具や製品などここのがいいよ！という情報。

水濡れ資料が綺麗に修理する方法

22. 修理に関するネットワークや交流会があったら参加したいですか？

21 件の回答



23. このようなアンケートで今後聞いてみたいテーマがあればご記入下さい。6 件の回答

資料保存や修理を業務として行っている図書館の情報と業務体制や業務内容

CD や DVD の研磨って、どのくらい効果があるのでしょうか。(研磨機を買ったまま、使っていません……)

書庫環境の改善方法

修理には和のりがいいとは聞いていたが、ついボンドを使ってしまう。みなさんの状況を知りたいです。

紙媒体がぞんざいにされており、記録の損失を危惧しております。デジタル化に伴い目録原簿など皆様キチンと保管されてるのかが気になってます。というのも先日ニュースになった図書館への外部からの攻撃でデータが暗号化され復旧できないとのこと。何十万冊の目録を打ち直すというような言及があり唖然としました。バックアップは DAT などで定期的に物理的に切り離れた媒体での保管が重要ですが、そういったシステム知識不足が今回のような事故に繋が

ったのではと、気になっています。紙媒体への一覧の印刷だけでも原簿としてファイルすることは当時いた図書館では当たり前でした。最近はそうではないのでしょうか。というリスク管理についてのアンケートもして欲しいです。

貴重資料の保管、管理について